



【学校教育目標】自分の可能性を信じ、新しい時代を心豊かで明るく、たくましく生きる生徒の育成

【キーワード】考え動く・・・『考動』

文責：湊口

令和6年度がスタートして約3週間が過ぎ、ゴールデンウィークを迎えようとしています。新学期の毎日は、ワクワクすることが多いと思います。同時に不安なこともあるでしょう。学級の、学校のみんなで協力してより良い学級や学校づくりに取り組みましょう。

☆『進化』していますか？☆

1学期の始業式で話した内容になります。生徒達は、中学校入学や2年生への進級、最上級生への進級あるいは受験生としての立場等、4月から生徒を取り巻く環境は変化しています。周囲の環境が変化しているのに、生徒自身の生活習慣や学習等に向かう気持ちに「変化なし」でいいのでしょうか。停滞は、「後退」「退化」とも言われます。変化、つまり『進化』が求められています。それでは、生徒の『進化』とはどういうことなのでしょうか。『進化』を同音の「新化」「深化」「伸化」に置き換えてみましょう。おなじ「しんか」ですが、意味合いやニュアンスが違います。

「新化」⇒新しいことやものにチャレンジして課題を克服する、つまり、様々なことにチャレンジして、新たな自分を生み出す

「深化」⇒物事は奥深いもので、経験を重ねる度に新しい発見があるので、さらに自分の学習等を深く掘り下げて、もっとレベルを上げる

「伸化」⇒これまでの自身の頑張りを肯定し、さらに自分の長所を伸ばしレベルアップを図る

どの「しんか」でも構いません。自分自身の成長に繋がる変化を始めましょう。

激変する社会に対応できる大人に成長するために、まずは中学校の段階で身に付けるとよい資質能力を獲得してほしいと願っています。ほんの数年前には考えられなかったタブレットを活用した授業等、世の中は日々進化しており、私たちはなんだかんだ言いつつ新しい環境に順応しながら生活しています。何となく変化し『進化』していますが、生徒諸君には、意図的な『進化』を期待しています。

☆本を読みましょう・・・☆

入学式の教育委員会告辞で、七尾市教育委員会 大森委員さんから読書の勧めがありました。読書は、自分を高めるために有効です。読書により我々は、楽しく、知識が付き、ものを考えることができます。また、本はあらゆる分野が用意され、簡単に享受できます。文学作品に限らず、自然科学・社会科学関係の本や新聞・雑誌を読んだり、何かを調べるために関係する本を読んだりすることも含みます。読書習慣を身に付けることは、一生の財産として生きる力ともなり、楽しみの基ともなります。中学時代の多感な時に、様々な本と触れあうこと、読書により知識を得ることは、とても素敵なことです。大森委員さんは、宮司さんであり、大学の先生であり、オリンピックであります。多くの貴重な体験の中から、中学生の皆さんへのメッセージです。今だからこそ、本を読みましょう。

また、大森委員が教えている大学の学生(教職希望)のコミュニケーション能力の高さに驚く、というお話も聞きました。教壇に立つ場合、相手に自分の考えや思いを理解してもらい、また行動してもらい必要があります。学生達は、ICTを活用する等して上手に生徒に伝えており、ベテラン教師も顔負けのことでした。そのように相手意識をもって、伝えるためには、何ができるようになればいいのでしょうか。自分の言いたいことばかり押しつけても理解してもらえません。相手の気持ちを考えることができる力を身に付ける(「なかじまMind」の「な」)、これがまず必要なことではないでしょうか。そのようなコミュニケーションの能力を身に付けた中学生に成長してほしいと思います。



☆令和6年度前期生徒会☆

4月22日(月)に、生徒総会が行われました。全ての議件が承認されました。事前に学級討議で、質問事項や要望事項が考えてあったので、委員長等の答弁も上手にできました。各委員会等に対する質問は、どれも活動をスムーズに行うことに繋がると思いました。要望については、やや個人的な希望が優先していたように思いました。しかし、スタートはそれでよいと思います。困り感が改善ポイントに繋がります。学校をより良くするための視点を加味していくと、きっとより活発な生徒会活動になると思い、今後に期待したいと思います。

さて、活動スローガンは、『相感我力(そうかんがりよく)』

です。『なかじまMind』の各項目を漢字一文字で表し直し、自分たちで考えた言葉だそうです。思いを文字に込めて表現したことで、『なかじまMind』を実践できる生徒になりたい、という強い気持ちが伝わってきます。創造力のある生徒会のメンバーとともにより良い中島中をつくっていきましょう。



□保護者の皆様へ お知らせ□

1 防災マット「MATOMAT」の寄贈について

太平洋工業株式会社より、防災マット「MATOMAT」が七尾市へ寄贈され、本校へも全校生徒に貸与されました。普段は椅子のクッションとして使用し、震災のような非常時は、頭を守るために使ったり、繋げて防災マットとして使うことができます。クッションの中身はリサイクル材を使っています。また、この製品をつくる手順の中で、福祉事業施設の方々に作業をお願いしています。このMATOMATを活用することで、「防災」「環境」「福祉」についても考えることができます。大切に使いましょう。



2 1学期通知表の日程について

昨年まで、4日間かけて行っていましたが、今年度は、学級内の生徒数減により、2日間で開催することにしました。ご理解ください。

◇日程・・・7月24日(水)、25日(木) 13:00~16:30 (予定)

3 愛媛県松山市立中島中学校との交流について

昨年度の震災の折、以前の中島町同士の交流を思い出し、愛媛県の中島町より、激励の柑橘類やメッセージをいただきました。本校からは、お礼のメッセージを各所に届けました。特に、愛媛県の中島中とは、卒業式や入学式の祝詞やお祝いメッセージの交換、また、地震や余震の時は電話で様子をうかがう等、交流が継続しています。特に今年度は、オンラインでの交流も考えています。

4 学校メールの登録について

今年度から学校メールは、「インフォメールななお」を使って配信しています。登録はお済みでしょうか。緊急の連絡等で必要になりますので、登録にご協力ください。

桜の花から、新芽の爽やかな緑が映える季節となりました。中学校生活の3年間はあっという間に過ぎ去ります。時間に追われるのではなく、時間を追いかけるような生活となるように、先を見越し計画的な学校生活を送りましょう。

Let's call.オアシスライン

～親子のなんでも電話相談室～

TEL 0767-52-0783

受付時間: 13:00~16:00(月曜~金曜)

相談内容: 悩んでいること、困っていること

*匿名でのお電話で構いません。秘密を守ります。

～オアシスライン担当～

